

事業番号	3	事業名等	堆肥製造施設運営事業	
仕分け結果	市が実施(要改善)		担当課	農業振興課

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
廃止	0	
民間が実施	3	<ul style="list-style-type: none"> ・酪農家が減少しているため、施設を1箇所を集約して民間に任せの方が効果的。 ・人件費が高すぎるので支出の見直しを行うべき。 ・堆肥の販売方法の多角化を検討するべき。
国・県・広域行政が実施	1	
市が実施(要改善)	19	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの施設は、経営統合できるのではないか。 ・稼働率を上げることが重要である。活用方法の改善が必要である。 ・人件費が問題である。 ・畜産農家が減少していく中で、稼働率を上げるのは難しい。 ・事業規模を縮小していくべき。 ・地域限定せず、広域を取り込むべき。
市が実施(現行どおり)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性は十分理解できる。 ・必要ではあるが、経営自体は統合を考えていく方向が望ましい。
市が実施(拡大・充実)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体と連携して拡大するべき。 ・2施設の統合は障害が大きいため、連絡・連携を密にするよう工夫するべき。

市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。

仕分け人の講評
<p>まずは、生産量が増えるということが大切である。市に依存したままでは、事業に持続性がなくなる。生産量を拡大していく中で合理化していくことが大事である。経営の統合も視野に入れながら、もっと付帯事業でできることがあると思うので、いろいろな方法を研究していき、できるだけ市からの委託料が無くても事業が成り立つ方向にもっていく必要がある。今後、市からの委託料が減額されていく中で、事業の業績が右肩下がりになっても、事業が成り立つようにプランニングしておく必要がある。今から手を付けていく必要がある。</p>